

【概要版】JR 下粕駅・近鉄粕田駅周辺地区バリアフリー基本構想

1. 地区の現状

■ JR 下粕駅・近鉄粕田駅

JR 下粕駅は、1 面 1 線の単線の地上駅です。駅舎はなく、ホームへは車いす対応のスロープが設置されていますが、トイレは設置されていません。無人駅で、インターホンが設置されています。

近鉄粕田駅は、2 面 2 線のホームを持つ地上駅です。駅の東西両側に改札口があり、そのうち東側 1 番ホームに駅舎・トイレが設置されています。それぞれのホームは構内地下連絡通路を利用して渡ることができる構造となっています。

■ 主な生活関連施設

JR 下粕駅・近鉄粕田駅周辺地区には、粕田駅東側に精北小学校やこまだ保育所、スーパーサンフレッシュ粕田駅前モール、下粕駅西側には、京都廣学館高等学校などが立地しています。

このほか、下粕駅の西側では学研粕田東地区及び学研粕田西地区の開発が予定されており、本地区は、「精華町第 6 次総合計画」において、学研粕田地区の玄関口となる「地域の拠点」と位置づけられています。

■ 地区内における主な課題

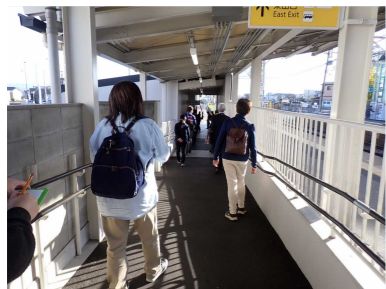
課題を把握するため、タウンウォッチングを実施し、鉄道駅や道路などで問題箇所や改善箇所がないかのチェックを行いました。さらに、ワークショップにおいて各班で意見交換を行いながら、駅舎や道路等の問題点や課題を抽出しました。

【タウンウォッチング概要】

実施日：令和 4 年 11 月 28 日（月）

14:00～16:30

参加者：29 名（精華町鉄道駅等バリアフリー基本構想連絡調整協議会、地域住民、障害者の方、その他関係者、事務局 等）



■ JR 下粕駅

〈情報提供全般〉

- ・無人駅なので、困った時に直ちに対応してもらえない。
- ・無人ならば、情報が分かるモニターを設置してほしい。
- ・難聴者にとって、インターホンでの会話は困難である。
- ・IC カードが読み取られない場合の対応がされていない。
- ・電光掲示板を分かりやすくしてほしい。
- ・ホームに発車標（運行情報を示す表示）などの視覚情報がない。

〈施設の構造等〉

- ・鉄製の階段の滑り止めが剥けている。
- ・示方線のない古い点字ブロックがある。
- ・ホームの舗装が経年劣化していて、点字ブロックとの違いが分かりにくい。
- ・駅を利用する時の動線（改札口、スロープ、ホーム）が狭い。また、車いす同士のすれ違いが難しい。
- ・落下防止柵が少ない。
- ・乗り越し精算機がない。トイレがない。
- ・夜は照明が少なく暗いのではないか。
- ・ホームに対して屋根がついている割合が少ない。

■ 道路（八幡木津線、僧坊旭線など）

〈施設の構造等〉

- ・歩道に点字ブロックがない。
- ・歩道の真ん中に信号柱があった。点字ブロックで囲んだり緩衝材を設置する必要があるのではないか。
- ・歩道の狭い箇所で段差があった。
- ・歩行者と自転車の通行区分があるとよいのではないか。
- ・西向き歩道には U 字型の車止めが多く、視覚にハンデのある人は危ない。
- ・高校周辺で横断歩道が消えかかっている所があった。
- ・下粕駅前の道路は、歩道も車道も狭い。
- ・歩道の幅が一定ではない。高校近くの歩道は、自動販売機の出っ張りがあり真っすぐではない。
- ・将来的には、下粕駅と粕田駅の相互乗換を考えた広い連絡道路が必要ではないか。
- ・JR 近くの川沿いに道路をつくってほしい。
- ・街灯が少ない。

■ 信号

- ・下粕駅前の信号は変わるのが早い、音響式信号が必要ではないか。
- ・高校前の交差点には信号が必要ではないか。

■ 踏切

- ・踏切を渡る歩道の幅が広く整備されていた（良かった点）。
- ・踏切の手前の点字ブロックが整備されていた（良かった点）。

■ 近鉄粕田駅

〈情報提供全般〉

- ・駅が無人の時間は、困った時の対応がしてもらえない。
- ・インターホンが設置されている場所が分かりにくい。
- ・難聴者にとって、インターホンでの会話は困難である。
- ・耳が不自由で QR コードで通信ができない場合の対応はどうか。
- ・電子表示板の表示は、簡単すぎて返って分かりにくい。
- ・東口の改札は、音声で鳴ると分かりやすい。
- ・ホームに「何分発」などの視覚情報がない。
- ・Wi-Fi が整備されている（良かった点）。

〈施設の構造等〉

- ・ホームに電車の乗場位置が示されていない。
- ・ホームのベンチは酔っ払いの転落防止になるので、横向きの方が良い。
- ・ホームの表示器と看板が被った位置にあり、注意喚起の効果が薄れている。
- ・スロープが直線でないため複雑に感じた。
- ・構内での移動は古い階段のみである。
- ・トイレはきれいでバリアフリー対応されていた（良かった点）。

■ 近鉄粕田駅前広場

〈施設の構造等〉

- ・点字ブロックが整備されていた（良かった点）。
- ・点字ブロックの色が分かりにくい（舗装の色と区別しにくい）。
- ・車いす用乗降所とバス停留所が近すぎる。

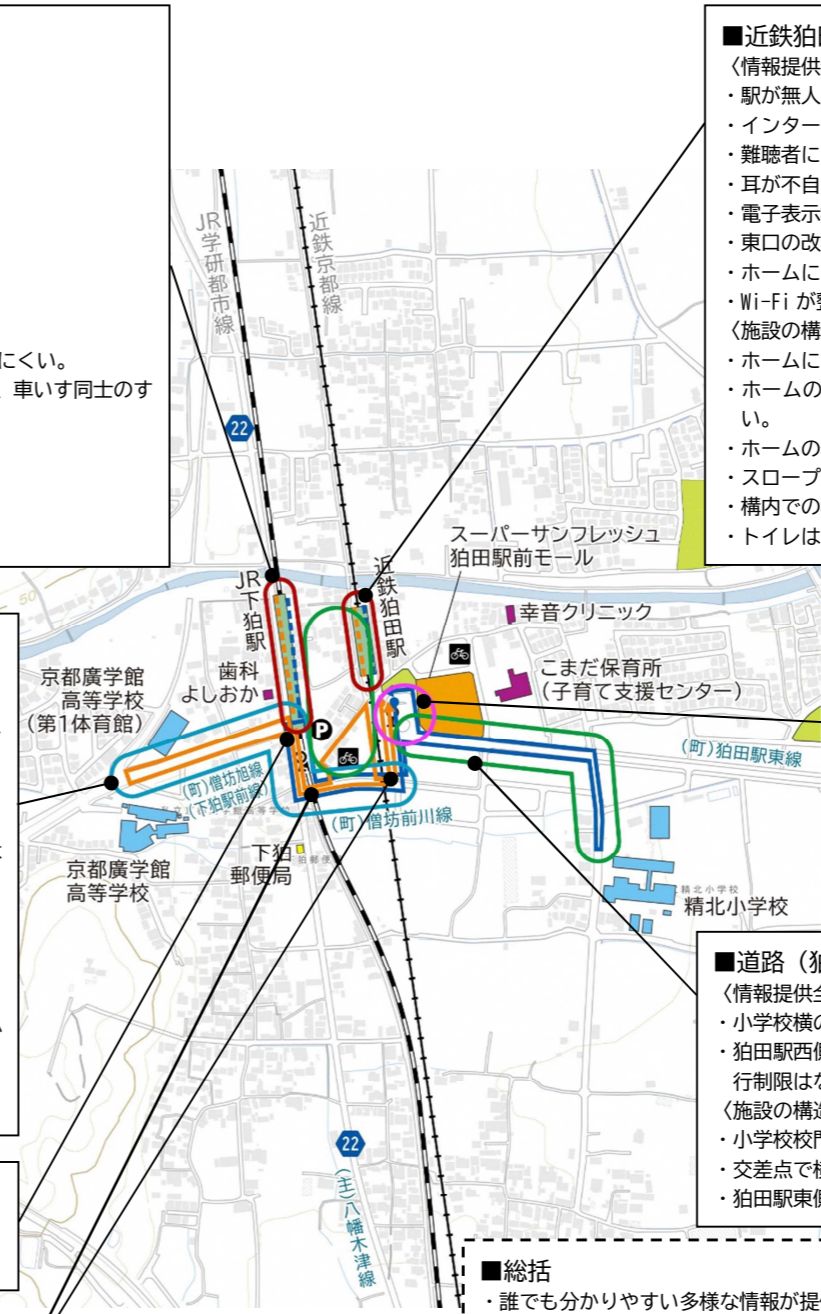
■ 道路（粕田駅東線など）

〈情報提供全般〉

- ・小学校横の歩道の幅が狭いので、子供が飛び出してきそうに感じた。
 - ・粕田駅西側（京都方面）の道路が狭く、車とすれ違う時、危険を感じた。通行制限はないのか。
- 〈施設の構造等〉
- ・小学校校門前のグレーチングは、目が粗く車いす利用者は通りにくい。
 - ・交差点で横断歩道がないところがある。
 - ・粕田駅東側は照明が少ないので、夜は暗いのではないか。

■ 総括

- ・誰でも分かりやすい多様な情報が提供されているかどうかが大前提。今ある仕組みの問題点を踏まえ、その改善や見直しから新たな仕組みづくりを進める。
- ・バリアフリーの取組は、建物などの点から移動経路上の線、そして地区としての面へと広げていくことで、誰でも住みやすい街へつながっていく。
- ・本日の意見を踏まえ、優先順位を付け、いろいろな所で進めていくことで相乗効果があがる。



2.重点整備地区の設定とバリアフリー化事業計画

重点整備地区の設定

JR 下粕駅・近鉄粕田駅周辺地区の重点整備地区の境界を設定しました。

バリアフリー化事業計画について

JR 下粕駅・近鉄粕田駅周辺地区におけるバリアフリー化を推進するため、タウンウォッチング等から得られたバリアフリー上の問題点を踏まえ、各施設の管理者が今後実施していくバリアフリー化事業計画の概要を定めます。

整備目標年度は、令和5～令和8年度を短期、令和9年度以降を中長期として、関係機関等と連携しながら計画的にバリアフリー化事業に取り組みます。

R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	R13 2031	R14 2032	R15 以降 2033
← 短期 →				← 中長期 →						← 時期未定 →

<ソフト施策（心のバリアフリーの推進）によるバリアフリー化への取り組み>

- 小学校でのバリアフリー教室の実施。
- 広く一般にバリアフリー化状況を周知するためのバリアフリーマップの作成、施設管理者によるバリアフリー情報の提供。
- 放置自転車対策や安全な歩行空間を阻害する行為等に対するマナーの向上の啓発・広報活動、および、放置自転車の撤去や取締りの実施。
- 通路幅員の確保、段差の解消、点字ブロックの設置などによる工事中のバリアフリーの実施。

■八幡木津線

- ◎歩道の点字ブロックの改善・充実
- 歩道にある信号柱や標識柱への注意喚起

■JR 下粕駅

- ◎鉄製階段の滑り止めの補修
- 情報提供の改善（具体的な内容は今後検討）
- ホームの点字ブロック（示方線付）の改善
- 下粕駅周辺のバリアフリーに対応した一体的整備（具体的な内容は今後検討）

■近鉄粕田駅

- 情報提供の改善（具体的な内容は今後検討）
- ホームの乗場位置の表示
- ホームのベンチ設置方向の改善

■精華くるりんバス

- ◎ノンステップバスの導入

■その他町道

- ◎精北小学校前のグレーチングの改善

■僧坊旭線

- ◎歩道の点字ブロックの改善・充実
- ◎歩道の段差の補修

■下粕駅前広場

- 下粕駅周辺のバリアフリーに対応した一体的整備（具体的な内容は今後検討）

